

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2020年9月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2022年4号(7-8月号)

特集

切れ目ない支援を実現する 産前・産後の訪問看護

妊娠中から産後まで切れ目ない支援を実現する方法の1つとして、訪問看護が注目されています。「産前・産後の訪問看護とは何か」という基本から、どのようなケースで活用可能か、導入・連携の方法まで、この特集で産前・産後の訪問看護が分かります。



2022年3号(5-6月号)

特集

オンラインクラス・ オンライン相談

急速に広がったオンラインツールの活用。現代女性のニーズに合わせ、サービスの一形態として定着しつつあります。本特集では、オンラインクラスや相談対応を効果的に実施するために、ノウハウとポイントの解説、さらにさまざまな助産活動における実践をまとめました。



2022年2号(3-4月号)

特集

教科書に載っていない 「進まない分娩」の対応

正常に経過していたはずなのに、なぜか陣痛が弱くなる、手を尽くしても進行しない。そんな「進まない分娩」への対応、進まない時に必要なサポートを、開業助産師のワザや助産外来での実践、医師の視点から考えます。



2022年1号(1-2月号)

特集

COVID-19 流行下の 助産ケア

2020年以降、COVID-19が妊娠・出産にも大きなインパクトを与えました。そんな中でも、現場の助産師たちは、最大限のケアで女性と赤ちゃんを支えてきました。特集では感染拡大の状況下における、現場からの報告を中心に掲載します。

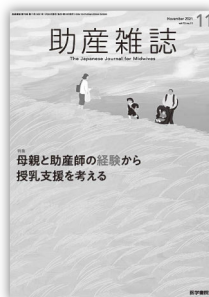


2021年12月号

特集

組織で育む助産実践能力

国立成育医療研究センターの助産師能力開発プログラム
国立成育医療研究センターが自施設の機能や特性、地域に果たす役割を踏まえて作成・運営している「助産師能力開発プログラム」。そのプログラム作成の経緯と全体像、各段階での研修の実践を紹介いたします。



2021年11月号

特集

母親と助産師の経験から 授乳支援を考える

助産師が行う母乳育児支援は、母親たちにどのような経験をもたらすのでしょうか。授乳が女性、赤ちゃん、家族に肯定的な意味を持つために、助産師は何かができるでしょうか。母親・父親の授乳の経験と、助産師の授乳支援の経験を通して考えます。

2021年 特集

10月号 母子と家族・社会をつなぎ止める、オンラインの活用方法

9月号 全妊婦への情報提供が始まる今 NIPTについて助産師が知っておきたいこと

8月号 妊婦も助産師も、冷え対策しませんか

7月号 後期早産児を産んだお母さんへの適切な支援とは

6月号 ガイドラインの改訂内容を解説！ ポジティブな出産体験のための推奨項目 56

5月号 切迫早産のより良いケアを模索する

4月号 産後うつを防ぎたい！